【検査士カード記載上の注意事項】

カードの記載、貼付、捺印などをするときには、下記事項をお守り下さい。
下記を守らず、資格更新審査委員会で不備と判定されたカードは、修正の後再提出いただきます。

① 細胞診専門医の氏名：

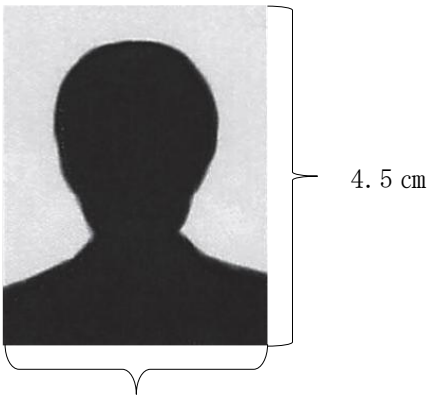
・担当の細胞診専門医にご署名および印（個人名の入った印）をもらってください。
必ず個人名が入っている印鑑であること
細胞診専門医ゴム印のみや、氏名ではない名称の印、あるいは手書きでの代用などは不可です（下記参考）



・担当の細胞診専門医と連絡が取れない、などの特殊な事情の場合、カードを送付される前に、まずは地域連携組織（都道府県）の代表者【旧・都道府県支部長】にご相談ください。

② 写真：本人の証明のための写真ですので、下記事項を厳守ください。

・写真は 3.5 cm（横）×4.5 cm（縦）（下図を参照）のサイズをお守りください。
写真の周囲に縁取りがある場合は、きれいに切ってから貼ってください。
・写真の条件は、上半身も入れ、無背景で、正面・無帽の写真ですので、顔のみが写っている写真やあまりにも顔が小さい写真、街中で映したスナップ写真などで背景が写っている写真、横を向いている写真などは不可です。



・カラー印刷やコピーは今後、可といたしますが、写真用の光沢紙に印刷、コピーをしてください。ピンぼけの写真や光沢紙ではない場合は不可です。
・セミナー時に単位のハンコを押す時には、原則として検査士カードの写真と本人を見比べ、本人の確認をいたしますが、写真の不備についての詳細なチェックまで行うと待ち時間が大幅に増加するため、不備のチェックは行えない場合があることをご承知おきください。
・５年前に貼られた写真が上記の条件を満たしていない場合は、条件に合った写真を１枚スキャンしてお送りください。

③ 業務単位の計算期間：2022 年 1 月～2026 年 12 月までの 5 年間の単位数をご自身で記入ください。

④ 業務従事の証明：上記の単位を所属施設長（あるいは所属長）に証明してもらうため下記内容を記載してもらってください。

・所属施設名、役職名、氏名を記載頂き、印（公印も可）をもらってください。

・上記期間中に勤務先の変更があった場合や、非常勤（あるいはフリー、アルバイトなど）で勤務先が多数の場合、別紙（様式自由）にそれぞれの施設名、業務内容・勤務時間などを記載し、新旧両施設あるいは多数の各施設の施設長（あるいは所属長）にそれぞれの施設名、役職名、氏名、印をもらってカードにのり付けしてください。ただし、新しい勤務先（現勤務先）が旧勤務先の業務を保証する場合は、旧勤務先の所属施設長（あるいは所属長）の記載は必要ありません。